

進路だより

発行：平成27年10月26日

1 スコラ手帳ライトについて

計画的にスケジュールを管理したり，提出物を書き留めたりする手帳として，スコラ手帳ライトを使用しています。7月に成長実感アンケートを実施しました。全国集計結果も含めてお知らせします。

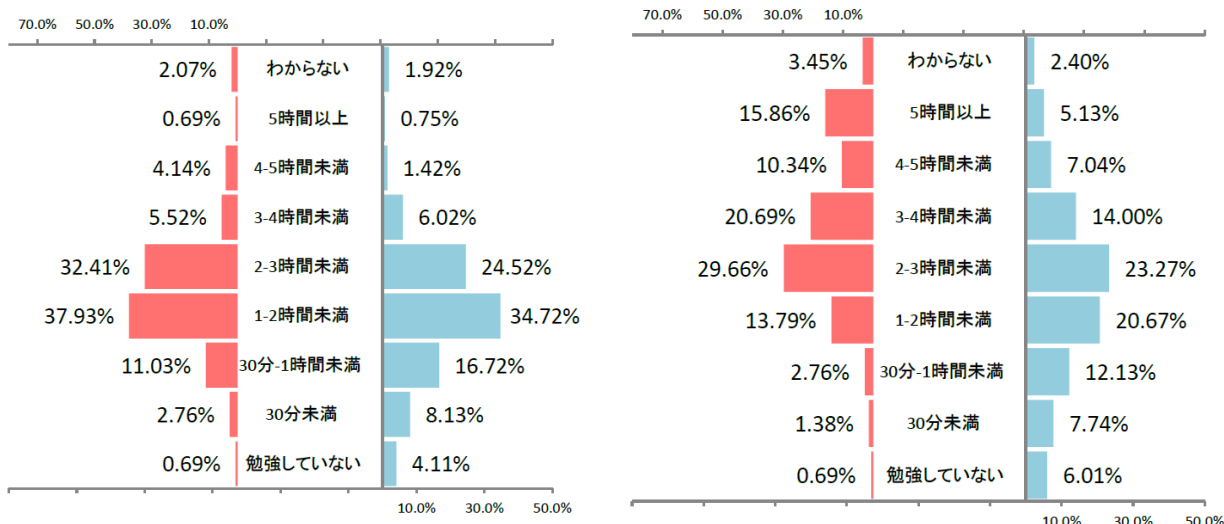
このスコラ手帳の導入には，次のような3つの重要な目的があります。

- (1) 計画を立てて学習に取り組むこと。
- (2) 学習しないといけない項目を整理すること。
- (3) 提出物などを記録すること。

これらをスムーズに実行するために，スコラ手帳ライトは導入されています。

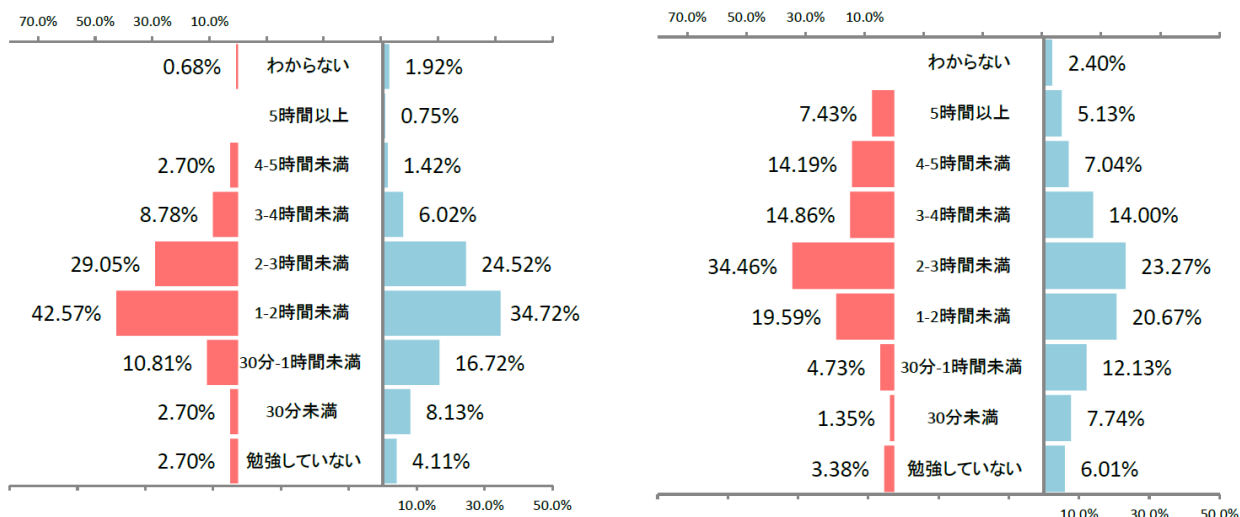
①学習時間について（1学年）※(左が本校，右が全国平均)

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？ Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



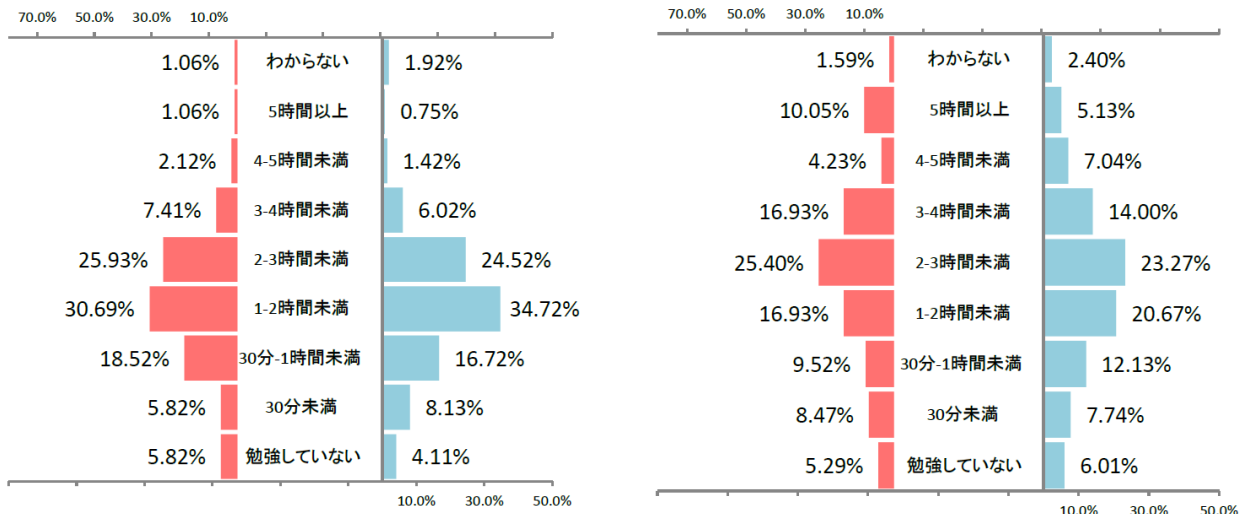
②学習時間について（2学年）※(左が本校，右が全国平均)

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？ Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



③学習時間について（3学年）※（左が本校，右が全国平均）

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？ Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



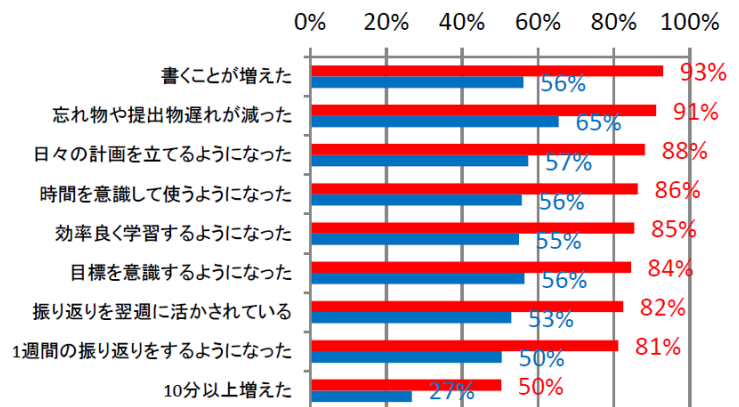
①, ②, ③の結果から1, 2学年とも学習時間が全国平均より長いことが分かります。中等教育学校へ入学後の緊張感をいい意味で継続することができており、その他の項目を見ても、スコラ手帳がその手助けとなっていることが分かります。しかし、2学年, 3学年と進むにつれて、効果的に手帳が使えている人と、使えていない人の2極化が進んでいます。特に、3学年では休日に5時間以上学習するなどしっかり学習できる人もたくさんいますが、全くしていない人も増加しています。毎日学習する習慣がついている人とついていない人では、6学年, また、それ以降の大学生活で大きな差となります。自分で記録をとり、自分で自分を律し、はやく学習面での自立をむかえましょう。

④ 手帳に記録すること

すでに多くのメディアに取り上げられています。手書きで記録することが、様々な点で効率を上げます。次のグラフは、手帳を使用している生徒とあまりしていない生徒の比較です。一目瞭然ですが、手書きで記録する効果が現れています。今は、できる生徒は手書き記録の時代です。朝と帰りのSHR以外にも普段から手帳を開く癖をつけましょう。

※上段が1日に手帳を3回以上開く生徒、下段が1日に手帳を2回以下しか開かない生徒。

1日にスコラを開く回数が
 ■ 3回以上の生徒 と
 ■ 2回以下の生徒 の比較



2 手帳甲子園について

スコラ手帳を活用している生徒は、手帳甲子園に応募できます。平成27年10月31日(土)までに、個人部門の手帳活用術か表紙デザインで応募してください。詳細は下記のアドレスを参考にしてください。個人部門は自分独自の使い方やルール、継続的に手帳を使う工夫などの活用度や基本的な活用方法にとらわれることなく、自由な発想で活用しているかなどの独創性が審査されます。学校から応募しますので、応募を検討している生徒は、学年の進路指導係の先生に相談してください。

手帳甲子園のアドレス

http://www.noltyplanners.co.jp/scola/koushien_2015_entry.html